CASE 6

耕作放棄地の再生

峰商事合同会社

［江田島市］

代表社員　井上峰志
設立：平成20年11月
経営面積：約1.5ha（農地中間管理機構活用面積 0.3ha）
生産品目：サツマイモ
従業員：社員4名，臨時雇用2名

荒れた農地が増えていく現状をなんとかしたい

江田島市で自動車整備工場を経営する峰商事（同）の井上代表社員は，東日本大震災でのボランティア経験をきっかけにエネルギー問題や農業について考えるようになる中，サツマイモを利用したバイオエネルギーが研究されていることを知り，地元の耕作放棄地を利用したサツマイモ栽培の取り組みを開始しました。

大学と共同でサツマイモを使った燃料チップの研究を進める中，その取り組みを知った酒造会社から焼酎原料としてのサツマイモ生産の話があり，平成25年から地域のブランド商品化を目指して取り組んでいます。

さらに、サツマイモを原料にしたもみじ饅頭や二重焼き，ジャム，スイートポテト，羊羹などの商品化を進めています。

荒れた農地が増えていく現状を何とかしたいと思い，

左）焼酎「てくてく」。地域と共に「てくてく」と歩んでいくという想いが込められています
右）毎年芋掘りイベントを開催しています

再生したサツマイモ畑

自動車整備に来られるお客様や，地元の農業委員からの紹介を通じて，また，直接農家に出向いて農地を借り受け，現在約1.5haの農地でサツマイモを栽培しています。将来的には5haに規模拡大し，耕作放棄地の再生と地域の活性化に取り組んでいきます。

農地中間管理事業の活用で地域の信頼が得やすくなる

峰商事（同）は，農地中間管理事業を活用して平成27年度と平成28年度の2回，計34aの農地を借り受け，さらに平成30年度に70aの新規借り受けを予定しています。

土地所有者への地代支払いなど事務手続きが簡素化されたことや，市や農業委員，農地中間管理機構の支援があるため土地所有者から信頼が得られやすいなど，事業活用の効果を実感しています。